

北海道開発計画調査等説明会 質疑応答 (1/5)

① 根室地域への旅行者誘客調査

Q 今後、他地域での旅行者誘客調査を行う予定はあるのでしょうか

A 令和4年度は根室地域で調査を行っており、来年度以降の調査については未定です。今回の調査とは別にインフラツーリズムなど、観光振興の取組は他地域でも行っているところです

Q なぜ、夏より冬にリピーターが多いのでしょうか

A 調査結果からはわかりませんが、調査過程で地域の方と話をする機会があり、バードウォッチングや流氷を目当てとした旅行者が多いのでは、と感じたところです

Q 夏であれば、体験型として昆布干しなどの漁業体験などあったらおもしろいのではないのでしょうか

A 昆布をさく、ヒレ刈りという体験メニューが羅臼にあるようです

Q GPSアプリによる観光客の移動経路のデータは、公開されているものなのでしょうか？一般の者が入手可能なものか教えてください

A このデータは本調査用にナビタイムジャパンに委託して作成したもので、一般の方は見られないデータです

外国人観光客のGPSデータは、北海道ドライブ観光促進プラットフォームの会員向けに提供しております

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/renkei/splaat000001bhbx.html>

Q コンテンツの磨き上げについて、各事業者の評価、意見、取り組む姿勢など、ご紹介いただけますか

A 49頁で紹介したファットバイクツアーは今までなかったツアーです。専門家招請に合わせて地域の方と意見交換を行い作成したものです。非常に評価が高かったことから、地域の方も商品化に向けて考えていきたいとのことでした

48頁のグランピングは、2～3年前に、もともとスキー場だったところに役場の方や有志の方が草刈りを自分たちで行い、グランピング施設を作って試行されています

北海道開発計画調査等説明会 質疑応答 (2/5)

① 生産空間における買い物環境維持のための小規模小売店等実態調査

Q 地域では、人口減少や高齢化によって購買力が低下する一方ではないかと思えます。その中で、例えば、ネット通販による販路拡大や、観光客の取り込みなど、地域外からの需要をつかむことが有効と考えられますが、そういった事例がありましたら、ご紹介いただけないでしょうか

A 地域内だけの購買力では難しいので、地域外からの購買力が重要です。例えば東川町で作っているポイントカードですが、東川株主制度の株主証として利用されており、地域外からの購買力獲得に活用されています。商店街振興組合連合会では観光を最重要に考えるべきだという話もあり、まさに地域外からの購買力が重要だと思えます

Q 老舗の経営継続の例では、経営の多角化の例が数件ありましたが、縮小・廃業した他の事業者のサービスを継承し、住民の利便を確保するという事業主の考えが現れている部分があると見受けました。調査において、そのようなことをより感じることや事業者のコメントなどありましたらご紹介ください

A 例えば神恵内村のいちき岡田商店で伺った中では、10年後も続けていくのは厳しいということで、新聞配達や地域から撤退した他の事業を自分たちで行っていければ、という話がありました

北海道開発計画調査等説明会 質疑応答 (3/5)

③ 農林水産業や食関連事業に係る立地企業等と地元とのマッチング成功事例等調査

Q どちらの企業立地の例でも結構です。企業が入って、地域の農業生産にも良い影響があったのでしょうか？何かあれば、ご紹介ください

A 旭川市のインタビューでも出てきましたが、農業者が京都グレインシステムさんへの出荷を前提に、導入作物を選定するなど、周辺農家への波及ですとか、協力体制が具体的に進んでいまして、旭川への立地の優位性や地域振興にも関わってくると思います

Q 京都グレインシステムさんの事例についてお伺いします。「食にデザイン要素を取り入れる」とのご発言に大変関心を持ちました。もしその具体的な内容を聞き取られていましたら、ご紹介いただけないでしょうか

A 旭川市さんからは、インタビューでも出てきましたが、食品製造事業者の様々な悩み事を聞いたりだとか、副産物に新たな価値を作り出す、という取組と聞いております

京都グレインシステムさんのHPには、

「ホールフード・ホールイートのためのデザインを通して、地球食（穀物・畜産物・水産物などの地球の恵みを無駄なく活かした食資源）のロングライフ化や、有効活用のため健康にも環境にも美味しくやさしい「オープンアクション」を実施。食品の可食部や規格外品のみに限らず、素材から発生する廃棄物までレスキュー。持続可能で未来へと循環するライフスタイルを提供いたします。」

と謳われています

北海道開発計画調査等説明会 質疑応答 (4/5)

④ 北海道産農産物の付加価値向上に向けた「新品種」PRの取組

質疑はありませんでした。

北海道開発計画調査等説明会 質疑応答 (5/5)

⑥ 農畜産物及び加工食品の移出実態調査

Q 調査票の回収率はどれくらいでしょうか

A 現時点で9割程度だと思います

Q 調査対象品目の決定方法は

A 北海道産の主要農畜産物・加工食品で、道内外に広く流通している品目です

Q 今後、追加品目として考えられるものは

A 最近、作付けが伸びているサツマイモや落花生など。加工食品ではワイナリーの増加によるワインや、醸造所の増加による清酒など、いずれも産地やメーカーのボリュームを考慮して、個別特定されない範囲での調査を行う事が考えられます